

グローバルスタディ（国内/2023）

三田市内の 外国にゆかりのある 子どもへの学習支援

動画のリンク

メンバー

ショウシキ 生野水萌 井藤聖 今村彩央里
白井詠介 大内啓大 大川聖菜 岡田愛美
熊懷一真 高橋秀斗 田上芽映 田中高志
智原紘人 辻都臣 富田裕香

プログラム
紹介動画



翻訳アプリ (VoiceTra)
紹介動画



事前学習

- ・日本に住む外国人の実態
（人数、国別の割合、在留資格、増減、などを含む）
- ・外国にルーツを持つ子どもたちの課題と支援
（学校で、進学の際、などを含む）
- ・日本語教育と国語教育の違い
（日本語の難しさ、発音、などを含む）
について調べ、レポートを作成、自分の考えをまとめた。
- ・プレゼント用「学習カルタ」の製作

事後学習

- ・活動のふりかえり、活動紹介動画・翻訳アプリ (VoiceTra) 紹介動画の制作



SKIPでの活動

①学習支援

- ・子ども1人ずつに対して、職員や学生が1～2人が付き添う
- ・子どものペースに合わせた学習支援をする
- ・日本にいる期間や年齢、日本語がよく話せる・あまり話せないなど子ども一人ひとりの課題が異なるため、学生も抱える課題がそれぞれだった

②企画

- ・遊び（紙コップリレー・パタパタゲーム・新聞紙じゃんけん・九マス鬼ごっこ）
- ・学生も子どもたちと一緒に遊びを楽しむ
- ・ルール説明はわかりやすい日本語で丁寧に説明する

③絵本の読み聞かせ

- ・静かに落ち着いて聞いてくれた
- ・子どもに読んでもらったりする

ふりかえり

○学習支援から学んだこと

言葉とモノを連動させることで効果的に学習できることがわかった。学習の中に遊びの要素を入れることで、日本語への苦手意識や抵抗を減らし、楽しく勉強することができることがわかった。

○企画から学んだこと

海外にゆかりのある子どもであるからといって、不安や劣等感を抱かせるのではなく、自信を持てるような関わりが求められる。多くの子どもは、日本語をがんばって勉強しようという気持ちが強いと思うので、その気持ちをうまく育てながら関わるのが大切だと思った。

○学んだことをどのように生かすか

海外にルーツのある子どもと関わる時には、その子どもの母国語を用いて挨拶をしたり、何気ない会話をしたりするなどして、積極的に関係性を構築していこうと思う。